

# 平成28年度第2回川崎市産業振興協議会中小企業活性化専門部会 会 議 録

## 1 開催日時

平成28年11月17日（木）16時15分～17時15分

## 2 開催場所

多摩区役所11階1102会議室

## 3 出席者

### (1) 委員（7名）

杉浦部会長（慶應義塾大学名誉教授）、遠山委員（専修大学経済学部教授）、岩井委員（川崎商工会議所理事・事務局長）、小出委員（川崎市食品衛生協会理事）、星野委員（神奈川県中小企業家同友会理事・川崎支部相談役）、三田村委員（川崎市青年工業経営研究会会長）、山根委員（川崎建設業協会副会長）

### (2) 事務局

産業政策部長、企画課長、企画課職員

## 4 議題（公開）

(1) 中小企業活性化施策の検証の進め方について

(2) 施策検証の担当事業（案）について

## 5 傍聴者

なし

## 6 会議の内容

産業政策部長

(平成28年度第2回川崎市産業振興協議会中小企業活性化専門部会開会を宣言)

(会議成立を確認)

(会議公開や傍聴人の有無(今回は無し)を確認)

企画課長

(資料を確認)

産業政策部長

(議事進行を杉浦部会長に依頼)

杉浦部会長

「議題1 中小企業活性化施策の検証の進め方」について、事務局から説明をお願いしたい。

企画課長

(資料に基づき説明)

杉浦部会長

ここまでの説明に関して、委員の皆様から御意見、御質問があればお願いしたい。

山根委員

政令市における中小企業活性化条例の制定件数を伺いたい。

企画課長

20市中、12の政令市で制定されており、今年4月に施行された本市条例は後発となる。

杉浦部会長

中小企業ではこれまで経験と勘で事業活動を行っているケースが多いものと思われる。また、自発提案型の事業は少ないのではないだろうか。サービス産業化やICT化とどのように結びついているのかを知りたい。違うタイプの統計があってもよいのではないだろうか。

事務局

今回、市産業振興財団が先日公表した「川崎市内中堅・中小企業経営実態調査レポート」を参考資料として添付した。今回のテーマはIoT及び海外展開であり、先生がご指摘になったICTに対する中小企業の認識についても触れられている。

企画課長

同様に参考資料としてお配りした報道発表資料についてもお知らせしたい。今日は欠席されているが、当部会の委員である大西氏が取締役を務める市内IT企業、データプロセスサービス社が、NHKの開発特許を活用して勤怠管理ソフトウェアのオプション開発を行った。これは本市が市産業振興財団と連携し、大企業の開発特許を活用して中小企業の新製品開発などを促進する「川崎市知的財産交流会」の一例である。

杉浦部会長

情報セキュリティに対し、中小企業は無防備であるケースが多いものと思われる。適切に指導する必要があるだろう。海外との取組が増えればますます重要となる課題である。

また、中小企業にはIoTなどの大きな仕組みは関係ないと考えているところが多いようだが、少しグレードアップしなければならない。製造業だけの問題ではないものと思われる。

企画課長

サーバセキュリティについては、県警と連携して取り組み始めたところで、今後紹介させていただきたい。

杉浦部会長

それでは、「議題2 施策検証の担当事業(案)」について、事務局から説明をお願いしたい。

企画課長

(資料に基づき説明)

杉浦部会長

ここまでの説明に関して、委員の皆様から御意見、御質問があればお願いしたい。

今日のようなフィールドワークは得るものが多いため、担当事業について担当委員がペアとなって、または一人でも現場視察を行うのも良いかもしれない。メリハリの利いた施策検証を行っていききたい。自分の肌で感じたものをレポートにまとめるという理解でよいか。

産業政策部長

施策チェックは議員も行っており、当部会ではそれぞれ事業に携わられている立場での感覚をもって、施策をチェックしていただければと考えている。

遠山委員

レポートを作ることが目的になってはいけない。事業名を見ただけでは事業内容が想像できないものも多い。例えば市産業振興財団補助事業について、財団が中小企業振興を行っているのはよく知っているが、補助事業となると想像ができない。

事務局

それは産業振興会館の運営管理事業である。おっしゃるとおり、事業内容をご存知でない場合もあるかと思うので、よろしければ担当課とともにご説明に上がりたいと考えている。

杉浦部会長

部会の良さである機動性を活かしていきたい。

岩井委員

今回示された契約関連の資料について。27年度の物品調達契約について、契約金額で見た場合、中小企業のうち市内中小企業が約半分しか受注できていない理由は何か、次回伺いたい。併せて、物品の中で金額が張るものがあれば教えてほしい。

企画課長

承知した。

杉浦部会長

区ごとのデータを取ることはできるか。全体像は分かるが、地域ごとに見ると、隠れた問題点が見えてくることもあるのではないか。例えば商店街では地区ごとに問題が異なるだろう。

事務局

発注者としての局区ごとの契約関連データを得ることはできるかもしれないが、受注者の区ごとのデータは得にくいかもしれない。今後確認する。

企画課長

今回は2月または3月に開催させていただきたい。

長時間の議論に感謝申し上げます。

以上